

石川 良一

5期20年の市長の経験を都政に活かす!

ご意見をお寄せください!

■連絡先 石川良一多摩事務所 〒206-0014 多摩市乞田 707 ファミリーナ・タマ 1-102

■電話: 042-355-5131 ■FAX: 042-355-5132 ■Mail: ishikawa.ryo1@gmail.com



多摩市・稲城市から初 — 都議会議長誕生!

石川良一は議長としてコロナ対策に全力投球 — 今はワクチン接種を急ぐ時!

新型コロナウイルスのイギリス型変異株の感染が、急速に全国に拡大しています。またインド型変異種株は、感染力も重症化率も更に強力と言われており、感染拡大防止を更に図らなければなりません。都議会は、コロナ専用ベッド、宿泊療養施設の確保、コロナ退院後の後方支援病院体制の強化を図り、マンパワーや医療機器等の充実も求めてきました。そして区市町村のワクチン接種の円滑な実施を支援してきましたが、ワクチン接種の強化が必要です。しかしワクチン接種の打ち手が不足する事態に陥っており、コロナワクチンの確保も接種も先進国で最も遅れている国となりました。接種に当たっては、今までの枠を取り払い、歯科医師は勿論のこと薬剤師や獣医師なども含めたワクチンの打ち手の確保を急がねばなりません。医療の危機管理体制を強化するため、法改正を含めた対応が求められます。またオリンピック・パラリンピックの開催日程が迫ってきていますが、コロナ対策を勘案しながら都民の命と健康を守ることが優先されるべきであり、オリ・パラ大会の開催ありきではありません。

都議会は新型コロナウイルス対策会議を 45 回開催!!

小池知事をはじめとする都行政の姿は、都民に知られています。一方都議会は、新型コロナウイルス感染拡大を災害の一種ととらえ「新型コロナウイルスに関する災害対策連絡調整本部会議」を設置し、議長の石川良一が本部長に、各会派の代表1人が本部員となり総計8人が45回の本部会議を開催してきました。この会議には小池知事や副知事、関係局長が出席し、都の政策変更や、緊急事態宣言の発令など本部長の判断で必要に応じ開催しています。直接各会派の意見をぶつけたり、施策の中味を問うこともあり、行政と都議会を結ぶコロナ対策のパイプ役を果たしており、今後も継続して開催していきます。



都民ファーストの会が 4 年間で実現した具体的政策

- 私立学校の学費負担軽減—世帯年収 760 万円から 910 万円に世帯年収を引き上げ
- 保育園待機児童 73% 減少 2017 年 8586 人から 2020 年 2343 人へ
- 出産に対し子供一人当たり 10 万円相当の出産子育て支援へ
- 「東京ニューディール」として 2 万人規模の雇用の創出事業
- 議員提案による「子供を受動喫煙から守る条例」「東京 2020 大会文書保管条例」他の成立
- 多摩島しょ振興のための市町村総合交付金を 500 億円から 580 億円へ 他多数

都議会改革にまい進、そして実現!



報酬・政務活動費約 20% カット費用弁償廃止、通算 27 億円削減達成、公用車も削減へ



通算
27 億円の
削減の内訳

議員報酬を議員 1 人当たり 20%削減…………… 約 **17.7** 億円
 費用弁償の廃止…………… 約 **2.3** 億円
 政務活動費を議員 1 人当たり月 10 万円削減…………… 約 **6** 億円
 庁有車を 20 台から 7 台に削減…………… 約 **6,800** 万円/年

小池知事も給与 50% カット

都議会改革と併せて小池知事は、就任以来 5 年間自らの給与 50% 削減を現在も継続しています。身を切る改革を知事も都議会も共に進めており、東京大改革の出発点としています。

石川良一さんの都政での活躍に期待しています

名城大学教授・副学長
野口光宣 (友人・多摩市育ち)
聖心女子大学教授
大橋正明 (友人) 敬称略



東京都知事
小池 百合子



元参議院議員
小野 次郎



調布市長
長友 貴樹



多摩市長
阿部ひろゆき



稲城市長
高橋 勝浩



松原隆一郎元東大大学院教授、現在放送大学教授とコロナ問題や武道論等について対談しました。その記事が月刊誌秘伝 7 月号 (6 月 14 日発売号) にグラビア 5 ページにわたって掲載されることになりました。ご一読を!

石川良一 プロフィール

1952 年 (昭和 27 年) 5 月 8 日稲城に生まれ。稲城第二小学校、稲城中学、都立武蔵高校、早稲田大学卒業、(株)三陽商会入社。1983 年 稲城市議会議員 2 期連続トップ当選、1991 年 38 歳で稲城市長初当選、以後 5 期 (20 年) 連続当選、東京都市長会会長。2013 年都議会議員初当選 建設環境委員長、予算特別委員会委員長、2020 年 9 月から第 49 代都議会議長。身長 177 cm 体重 75kg 血液型 AB 型 趣味: 空手、ツーリング、ゴルフ

いま進めるべき政策は、**コロナ感染の抑止!** 大政党ではなく普通の都民を大切に政治を!

多摩市で4年間に実現した事業

インキュベーション農地スタート



多摩市でインキュベーション農地事業が、連光寺の南多摩尾根幹線沿いの里山保全地域内の生産緑地 1,936㎡を活用することになりました。都の用地を2020年度から2年かけてハウスなど200～500㎡を整備し、23年からインキュベーション農地（起業支援農地）として起業する事業が都内で初めて始まり、新たな栽培技術を導入したハウスは完成しており、大いに注目を!

多摩消防署—昨年7月建替えオープン



新本署は昨年7月に完成。6階建て延べ床面積4,123㎡で以前より2,646㎡増え、多摩消防署の配置車両は、合計14台。工事費は約25億円。施設のバリアフリー化は勿論のこと、太陽光発電設備8.1キロワットやトレーニングルーム、災害対策宿舍なども設置し、128人の職員が多摩市民の救急や火災・災害対策に当たることになり、大幅な機能強化につながっています。

関戸橋—下流側新橋ピア工事進行中



多摩川中流部の多摩市と府中市の間にかかる関戸橋（全長375.8メートル）は、都内でも最も古い橋です。工事は仮橋の設置から始まり、都が投入する予算は橋全体で100億円規模で現在の橋の機能を確保し、完成までに約16年間という長い期間を要します。現在下流橋のピア（土台）の設置工事が進行中で完成すると上流橋も下流橋も歩道が整備されます。

都立永山高校建て替え今年度完成



多摩ニュータウンの入居後都立永山高校が開校し、来年50周年を迎えます。老朽化した校舎などを全面的に建て替える工事が始まっています。校舎は本年7月には完成します。太陽光発電や雨水の再利用はもちろんのこと、多摩産材も20㎡を視聴覚室や体育館で活用することになっています。校庭が都立では有数の46,800㎡あるのが特徴です。

多摩市西永山福祉施設を都営住宅と合築 地域共生社会のモデルに

都では都営住宅の建設に際し、市の福祉施設を住宅敷地内に整備することで、「多摩市西永山福祉施設」を開設し、民間の5事業者が「小規模多機能型居宅介護」が1事業所、「就労継続支援B型」が3事業所、「放課後等デイサービス」が1事業所の計5事業所を開設しました。また地域交流スペースも確保されました。



稲城市で実現した事業

稲城市内で都の用地を活用して市の施策が実現

稲城のぞみ保育園



2020年稲城市大丸の都営住宅跡地を活用して大型保育園、稲城のぞみ保育園が4月1日オープンしました。大丸都営住宅跡地の用地2380㎡を都が市に貸し出し、市が民間の保育業者に委託する方法で、228人定員の大型保育園です。駐車場も整備されており送迎も可能になっています。

しおどめ保育園稲城



稲城市内の組合施工の小田良土地区画整理事業地内に、9,200㎡の公有地を所有しています。その土地の2,629㎡を貸付け新しい保育園が2021年4月オープンしました。学校法人柴学園「しおどめ保育園稲城」で、市立第三保育園の移転先でもあり150人に定数を拡大し、建物は1,200㎡で園庭も広く設計されています。

新消防分署 平尾出張所



上平尾土地区画整理区域内に都が所有する用地、敷地面積1,380㎡を活用して建設された地上3階建て、延べ床面積1,002㎡で、消防ポンプ車一台、救急車一台、総員25名で平尾、坂浜、若葉台地区等への救急消防体制が格段に充実します。将来都に移管することになっても、問題ないように東京消防庁規格で建設されています。

都南多摩水再生センターは環境先進地区!



昨年度稼働を始めた南多摩水再生センター内の小水力発電(30kw)は、水再生センターで使う電力の1%を生み出し、下水汚泥を焼却する際に出る熱を発電のエネルギーとして活用する、バイナリー発電は4%を生み出し、設置済みの3,778枚のソーラー発電と併せると全体で10%の電力を生み出しています。隣のごみの中間処理施設、多摩川衛生組合の6,000kWアワーの発電とプールや病院等の余熱利用を併せると、一大環境対策先進エリアと呼べるでしょう。

多摩・稲城・川崎を結ぶ道路完全開通!



多摩3・4・17号線坂浜平尾線が道路や橋梁はトンネルも完成し、鶴川街道との接道も済み多摩市の馬引沢、稲城市の若葉台から土地区画整理地内を通り新百合ヶ丘に抜ける都市計画道路が開通し、鶴川街道右折信号も本年5月17日に完成しました。